



祝！成人 (解説は14ページ)

### 主な記事の内容

- 12月議会常任委員会 2～7
- 一般質問 8～11
- 一般会計補正予算、審議結果、賛否のわかれた議案、請願・陳情の審査結果、表紙解説、全員協議会、討論、特別委員会 11～15
- 五浦美術館、編集後記、3月議会日程 16



議会だよりQRコード

## 産業建設委員会

会期中にそれぞれ委員会を開催し、委員会に付託された議案の審査を行いました。  
また、委員会の分掌に関する事項についても質疑を行っています。ここでは、委員会での質疑の一部を紹介します。

12月8日に開催され、現地調査として企業主導型保育所、大型農業施設（いずれも中郷町）を視察し、付託された陳情1件、議案7件を審査し、その他についても質疑を行いました。

### 陳情について

「米価下落への対策を求める意見書の提出」を求める陳情については、今期の米価が大きく下がっているのが現状、諸外国では生産物を買上げ困窮者に配布するなど、生産活動と困窮者の生活を下支える施策を実施している、日本政府も率先してそうした施策を行うなどして、下落に対しての対策をすべきとの意見が出され、採決の結果、全委員異議なく意見書提出に同意しました。

### ◆専決処分について

答 新型コロナウイルス感染症対策で自粛要請に応じ影響を受けた市内中小事業者に対して、上限20万円の支援金を支給するため、3200万円の補正を専決処分したものです。

予算規模となる160件の根拠は、先に県に申請した市内業者数から多めに見込みました。期間は、令和4年度1月31日までで、市広報・HPや商工会を通しての周知など行っています。12月7日現在、申請者数56件です。

### 茨城北農業共済事務組合の解散に関わる3件の議案について

答 後継者不足などから農家数が減少しており、共済事業の組織や事務の効率化などをはかるため、一県一組合にとの農水省の指導により、全国的に統合が進んでいます。茨城北農業共済事務組合については、会計処理について不適切な事務処理があり、解散・統合の話し合いは凍結していました。

その後、各共済組合にて改めて統合への話し合いがすすみ、4年度から4組合での統合となることが決まりました。ついては、茨城北農業共済事務組合の解散を行う

ことになり、解散にあわせての事務や財産管理に関する条例の提出です。

### 一般会計補正予算について

答 農業費について、農業振興費535万円は、農地中間管理受託事業にかかる協力金で、主に下桜井土地改良区においてのもので、約28ha分の農地集積に係る協力金です。農地費75万円は、関南地区県営一般農道整備事業の負担金で、4年度に工事終了の予定です。

商工費について730万円の減額は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止したイベントの補助金の減です。市民夏祭りの500万円、磯原節大会の30万円、ノルディックウォーキング事業の200万円の3件です。

土木費については、道路維持費800万円のうち、排水整備工事に200万円でグレーチング盗難被害の5箇所計31枚の補修費などです。ほかに交通安全施設工事に600万円で、「通学路安全推進協議会」において対策の検討をした10箇所に対応します。

### 水道事業の補正予算のうち債務負担行為の設定について

答 運転保守管理業務委託費としてそれぞれの限度額は、華川浄水場は1億6830万円、中郷浄水場は1億7402万円です。

期間は、令和4年度から6年度までの3年間で、年度当初からの事業で今年度中の入札を行うため債務負担行為の設定で、それぞれ5業者で入札を行います。

### ゼロカーボンシティ構想について

問 構想とその具体化についてはいかがか。

答 2050年までに温室効果ガス排出の実質ゼロを目指す国のロードマップが示されました。

当市では、平成26年度策定の環境基本計画の取組み項目や数値目標の現状分析と、ゼロカーボンを見据えた項目への見直し作業を進めています。

今後は、パブリックコメントの実施と市環境審議会への諮問を経て、今年度中に、環境基本計画を改定します。ゼロカーボンへの具体的な取組みについては、今後の国の動向を注視しながら推進します。

### 磯原駅周辺に新設のウォーキングロードについて

**問** 磯原駅西側について、現在の歩道のがたつきが全面的に整備される形で実施されるのかどうか伺う。

**答** 駅前から磯原中央公園に向かって左側の歩道の民地側に、ゴムチップ舗装による幅2m程度の整備を予定しています。  
要望 歩道全体として段差のない統一した整備を望む。

### マウントあかねの改修について

**答** 築22年経過し施設の老朽化が進んで、利用者のニーズに応えきれいていません。コロナ以前に空調部分の改修計画はたてたのですが、今回改めて、大規模改修の実施計画をたて、現在設計にはいっています。客室の空調設備と壁・床の張替えなどを優先し年次計画をつくり、続いて展望風呂の検討をしていきたいと考えています。

### 楊枝方地区のキャンプ場について

**答** 富士ヶ丘・楊枝方地区での交流人口の増加を図るため、NTTドコモの北側3万㎡に、キャンプ場の整備を検討しています。キャンプ、区画サイト、リーススペースを予定しています。

11月6日に、住民説明会を実施し、関係者35名の参加を得、了解いただきました。現在、基本設計、実施設計の見積もりをしています。

### 市民野球場の修理について

**答** 建設後41年が経過し老朽化が進んでおり、修理の要望を承知しています。引き続き予算計上を申請しており、修理に向け努力します。

**要望** 表面コンクリートの剥離が目立ち、散歩やジョギングの市民から危険との声を聞く。維持管理での早急な対応を要望する。

### 公営住宅の現状について

**答** 既存の市営住宅については、申請した順番待ちですが、4階と5階への入居希望が少ないため、空室がある状況です。

災害復興住宅3箇所については、市営住宅となった元年度に、一度公募し抽選を行いました。次回は、4年3月に公募の予定をしています。

### 通学路の安全対策について

**問** 大津避難道路と新磯原中付近の都市計画道路にかかわる信号機設置について伺う。

**答** 県警察に要望していますが、

設置指針に見合わないとのこととで保留中です。安全面からは、他の手立てを種々検討しています。引き続き、県に強く要請をしていきます。

**磯原中付近の信号設置についても保留中です。なお、水路工事が終了しても、全面開放はせず、一部付近住民の通行に必要な部分だけの開放を考えています。**

**問** 中郷ニュータウンの法面の工事に伴い通学路が変更されているが、南側の歩道のがたつきの補修はいかがか。

**答** 早急に補修工事をします。



●大型農業施設・トマト栽培 (中郷町 2021年12月)

どちらも、地元の雇用確保と就労環境の整備など国の補助要件を満たし、2021年から運営をしています。



●企業主導型保育所 (中郷町 2021年12月)

## 文教厚生委員会

12月9日に開催され、付託された議案6件を審査し、その他についても質疑を行いました。  
また、14日に追加議案1件を審査しました。

### 国民健康保険条例の一部改正について

**問** 健康保険法施行令の一部改正に伴う改正で、主な改正点は、現在の出産育児一時金の支給総額42万円のうち、産科医療補償制度の掛け金分が1万6千円から1万2千円に減額になったことに伴い、少子化対策の重要性を勘案し、減額分の4千円を現行40万4千円の本来の出産育児一時金に上乘せし、40万8千円とするための改正です。  
令和4年1月1日以降の出産から適用となりますが、現在の支給総額42万円に変更はありません。

### 一般会計補正予算について

**問** 施策の主なものを伺う。  
**答** 執行見込額の増で、障害者自立支援給付費、日中一時支援費、障害児給付費などで9113万7千円の補正、生活保護費で4657万9千円の補正です。

新型コロナウイルス感染症予防接種事業で、3回目接種の実施に伴う集団接種延長に係る事業費として1437万円の補正です。

教育指導費で、中学2年生が1月に実施する宿泊学習において、新型コロナウイルス感染症対策のため借上げバスを増便する補助金65万8千円の補正です。

小学校及び中学校管理費で、執行見込額の増による光熱水費など、それぞれ479万1千円及び879万円の補正です。また、同理由により、歴史民俗資料館費で91万4千円の補正です。

### 特別支援学級の状況について

**問** 特別支援学級の通学児童・生徒数、教員数、支援員数などを伺う。

**答** 学級数、児童・生徒数は、小学校18クラス、74人。中学校10クラス、38人です。支援員は25人です。担任教員は28人、うち専門免許所持教員は8人で、所持率は28.6%です。

**問** より専門的知識を持った教員に学びたいとの保護者の要望があるが、専門免許を所持した教員の増員について伺う。

**答** 特別支援学級は、より高い専門性をもったことが望まれる職ですが、免許所持者が少ない実情で

す。今後、専門性を高めるためにも特別学級を担当する教員には、進んで免許の取得を促していきたいと考えています。

### オンライン授業の反省などについて

**問** 保護者などの意見について伺う。

**答** 児童・生徒、保護者に3者面談や保護者会などで聞き取りを行いました。肯定的には、オンライン授業を受けられてよかった、先生や友達の顔が見えてよかった、との意見がありました。課題としては、一斉授業のようになり進捗が速く感じられた、長時間画面での授業のため集中力が持続しづらかった、健康面で不安があった、との意見があり、割合はほぼ半々でした。

**問** 今後の活用について伺う。

**答** 教員が実践をとおしてタブレットPCの活用力の向上が図られたと認識しています。今後は、離れたところでALTと音声をつなげて学習環境を広げていくことや再度の臨時休業の際に活かされると考えています。  
要望 他市では、オンライン授業を学習に活かし始めており、当市においても有効活用するよう要望する。

### ICT支援員などの状況について

**問** 12月からICT支援員の派遣

が始まり、状況について伺う。

**答** 教員のタブレットPCの利用状況の確認や助言、授業で児童への操作の支援を行っています。

今後、プログラミング学習での助言、入力補助、調べ学習、プレゼンテーション作成補助などを予定しています。

**問** タブレットPCの活用実態について伺う。

**答** 各学校には、ICTについて得意な教員がいますので、協力して活用しています。

要望 県南地域と県北地域では、機種や使い方に差があると聞いているので、教員の声や授業での使い方、さらには機種の変更を含めて調査するよう要望する。

### 通学路の安全確保について

**問** 安全点検の状況について伺う。

**答** 当市では、国、県、警察、各小中学校、市の関係各課で構成する「通学路安全推進協議会」で、通学路の安全確保に関する合同点検および対策を実施しています。昨年度までに137箇所の方針を講じ、未整備は13箇所となっています。未整備の主な理由は、道路拡幅に伴う家屋移転などが必要のため時間を要しています。この合同点検は、中学校区を3グループ

に分け、それぞれ3年に1回点検しています。

6月の千葉県八街市での事故を受け、抜け道になっていいる道路など、スピードが上がりやすい箇所や大型車の進入が多い箇所、過去に事故には至らなかったがヒヤリハットの事例があった箇所の把握を、地域住民、保護者、児童・生徒の声をふまえ学校で行いました。その要望にもとづき、今年度は市内全域の緊急合同点検を実施し、28箇所の対策を検討しています。

**問** 危険箇所の周知について伺う。  
**答** 危険箇所の地番、状況、対策内容、図示などの一覧を市のHPにて公表しています。

**要望** 学校はもちろん、各地域の公民館や民間を含めた市内の施設などに掲示し、市民に周知を図るよう要望する。

**部活動への支援について**

**問** 中学校などの部活動が上位大会に出場した際にかかる経費の支援について伺う。

**答** 中学校体育連盟にかかる大会で、交通費、宿泊費などを市旅費規程に基づき支給します。現在、中学校で関東大会出場が4校10件、全国大会出場が2校4件、その他の全国大会出場が1校1件の申請

があります。

**要望** 補助金支給対象者は、実際に大会に行っている人数より少ない実情を加味した上での補助金の増額を要望する。

**いじめ対策について**

**問** いじめ対策について、どのように取り組んでいるか伺う。

**答** 未然防止のため、いじめの起こりにくい学級づくりに取り組んでいます。具体的には、ハイパーQ.Uアンケート（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）で、学級の中の人間関係を調査し、学級経営に活かし、教育相談体制を整えて、子どもたちが相談しやすい環境づくりをしています。

また、児童会活動・生徒会活動で、児童・生徒が活躍できる場を設定するなどして、子どもを主体にいじめを起こさないような取組みを行い、一人ひとりの自己有用感を高められるような場づくりに努めています。

**問** 警察のOBを活用している自治体もあると聞いているが伺う。

**答** 生徒を守ることを第一に学校で対応することで、生徒からも保護者からもご理解いただいています。**要望** SOSを上げられない子どもやアンケートにも書けない子ども

ももいると思うので、見逃さない対応を要望する。

**高齢者などへの買い物支援について**

**問** 一人暮らしの高齢者などの買い物弱者に対する支援について伺う。

**答** 買い物支援については、交通弱者対策として65歳以上の方を対象にタクシー助成券を月4枚支給しています。また高齢者の見守り活動として、北茨城市商工会に行商サービスを委託し、月・水・金の週3回、各地区を回り、食料品や日用品などの移動販売をしています。また、食料品、日用品の配達などのサービスを提供している店舗などの情報を掲載した「元気気手帳」を平成30年に作成し、広報紙に全戸配布で折り込みしました。その改訂版を令和4年2月の広報紙にあわせ全戸配布します。

**問** 行商サービスは、どの地域を巡回しているか伺う。

**答** 震災以降始まったサービスで、大津復興住宅や平潟復興住宅などを巡回しています。中郷地区では、日棚・下桜井などを巡回していますが、市民の要望をふまえ3ヶ月ごとに見直しをしています。**要望** 買い物に不自由している地域、買い物弱者などを調査し、高齢者などや地域住民が不自由なく

暮らせる対策を講じるよう要望する。

**ワクチン接種について**

**問** 風疹ワクチンの接種期限の延長について伺う。

**答** 風疹ワクチンのクーポン期限は、4年2月末になっていますが、国で延長を検討していますので、正式通知を待つて対応します。

**問** 子宮頸がんワクチンの接種の周知について伺う。

**答** 小学6年生から中学生は学校をおして、高校生は郵送で接種を促してきました。国では、4年4月から改めて積極的勧奨を実施する方向ですので、それに対応します。また接種機会を逃した方への対応を国が協議中です。

**市民病院の収支見込みについて**

**問** アフターコロナにおける収支見込みについて伺う。

**答** 先行きが見えない中での来年度予算編成になりますが、コロナ病床を確保している状況下でもあり、今年度と同様の予算編成になります。今年度は、病床確保の補助金がなければ赤字見込みですが、診療報酬が増収となる見込みもあるため、来年度はこれらをふまえながらの収支見込みになります。

## 総務委員会

12月10日に開催され、付託された議案2件を審査し、その他についても質疑を行いました。

また、継続審査になっていた陳情1件について審査しました。

### 専決処分の承認を求めることについて

**答** 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、茨城県から営業時間の短縮要請などの影響を受け、売上が急減した市内事業者に対し、事業者支援一時金を支給する経費を計上しました。この補正予算は、特に緊急を要するため市議会を招集する時間的余裕がないため地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定に基づき承認を求めるものです。

### 一般会計補正予算について

**答** 主に、障害者自立支援給付費、生活保護費、道路補修事業費などを増額するほか、新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種事業にかかる費用を増額するものです。

**問** 財産管理費委託料の増額について伺う。

**答** 旧消防北部分署跡地にかかる分筆測量委託料であり、未利用市有財産の利活用を図るため条件整備を行うものです。

工事請負費の増額補正は、庁舎西側の受水槽外部配管において腐食が著しく、維持管理に支障となることから改修を行うものです。

**備品購入費は、新型コロナウイルス感染症拡大防止として手洗い水栓の自動化をするものです。**

**問** 旧消防北部分署跡地の面積とその活用について伺う。

**答** 跡地は3筆でおよそ2500㎡となり、条件整備を行い公売する予定です。

**問** 工事請負費は、老朽化した受水槽の改修とのことだが、整備後何年経過しているのか伺う。

**答** 本庁舎建設時に整備されたもので、35年ほど経過しています。

**問** 備品購入費について伺う。

**答** 感染拡大防止対策として、庁舎内の手洗い水栓の全面自動化をするもので、昨年度は15箇所改修し、新たに25箇所を改修します。

**問** 未利用地の現状について伺う。

**答** 未利用地となる候補地は21箇所あり、市有財産利活用検討委員会で協議が進められています。そ

の中で、4件については土地形状が法面などであることから処分困難物件として位置付けられ、加えて3件については、すでに公売物件として公売価格の見直しが必要であるという結果が出ています。残り14件は売却処分相当とされていますが、分筆などの条件整備が必要な物件があり、公売処分方法も含め検討していきます。

**問** 未利用地の活用について伺う。

**答** 市有財産は、市民の貴重な財産であると認識しており、未利用地財産については市民サービスの観点からも、遊休地の売却、賃貸などを推進して歳入の確保を図り、財政の健全化を進めていきます。

### 第3回定例会において継続になっている陳情2について

中華人民共和国政府に対して、自由や民主主義といった普遍的価値が保証されるよう働きかけることを求める意見書について

日本政府の明確な指針は出されていないが、近隣自治体の動向などの調査をおこないました。各地の議会では、採択を目指す動きも広がっており、茨城県議会、水戸市議会においても意見書が提出されていることなどをふまえ、北京



●解体工事が進む旧磯原中学校（2022年1月）



●旧消防北部分署跡地（関南町 2022年1月）

オリンピックが開かれようとする  
今が意見書提出のタイミングであり、  
人権にかかわる大きな問題である  
ことから、地方から国へ働きかけを  
し、明確な意思を出していくこと  
にしました。

意見書本文は、

1、G7はじめ各国に続き、中国  
政府が新疆ウイグル自治区で行っ  
ている行為を「ジェノサイド」と  
認定すること。

2、中国においても基本的な人権、  
自由や民主主義という国際社会に  
おける普遍的価値が確実に保証さ  
れるよう、強く働きかけること。  
とし、関係機関に提出することに  
しました。

### 危機管理の部署創設について

**問** 現在の危機管理体制は、総務  
課防災安全係が統括し対応を行っ  
ている。今回のコロナウイルス感  
染症や、ゲリラ豪雨、大規模な台  
風被害など、想定を超えた災害も  
各地で発生している。このような  
危機に備え、常に情報を収集し対  
策を行う専門の危機管理部門の創  
設が必要と考えるが見解を伺う。

**答** 近年の複合災害などに対する  
備えとして、危機管理に係る統括  
機能の強化など、危機管理体制の  
構築の必要性を認識しており、来

年度の専門部署の設置に向けて検  
討しています。

**問** 他の市町村では、専門部署に  
「危機管理監」を置くケースもあ  
るが見解を伺う。

**答** よく調査し検討します。

### 複合防災センターについて

**問** 複合防災センターの光熱費割  
合が非常に高くなっているが、大  
型の電機調理器具の利用があるの  
か。また、その他の使用燃料につ  
いて伺う。

**答** 調理機器は、電気により稼働  
しています。調理の熱源は、A重  
油を使用した蒸気ボイラー、プロ  
パンガスを使用しています。

**問** 複合防災センターとして、平  
時は給食センター、非常時には防  
災センターとしての位置付けであ  
るが、他の避難施設同様実際に使  
うことができるのか伺う。

**答** 非常時には、炊き出し機能を  
備える避難所として活用してい  
ます。

**問** 非常電源についてはどう活用  
するのか、炊き出し機能をあわせ  
持つ電源の規模について伺う。

**答** 非常時は、二〇〇kVアンペア  
規模の自家発電装置を備えていま  
す。

### 「広報きたいばらき」について

**問** 広報発行事業の決算を比較す  
ると、前年度より約140万円減  
額しているが理由は何か。また、  
部数の減少について伺う。

**答** 今年度は月部数1万5500  
部で予算額2076万5千円、前  
年度は1万6000部で2213  
万4千円です。減額の理由は、ペ  
ージ数や消耗品の費用に変動が生  
じたためです。

部数の減少については、各常会  
長に配布をお願いしていますが、  
常会数と加入世帯数の減少により  
発行部数も減少しています。

**問** 配布世帯数は全世帯のうち何  
世帯か。また、未配布世帯への対  
策はあるのか伺う。

**答** 全世帯数は、11月現在で1万  
6946世帯です。各常会長にお  
願いし、65%にあたる1万111  
0世帯に配布しています。

未配布世帯への対策として、パ  
ソコンやスマートフォンを使いHP  
から閲覧できるほか、公共施設  
コンビニ、スーパーなど市内70箇  
所の施設に置いてあります。

**問** 広報紙の発行による行政の役  
割について伺う。

**答** 市の情報配信、お知らせをメ  
インとし、最新のニュースや学校

関係のスポーツ情報などを、広く  
市民に伝えるように努めています。

**問** 配布に関し、コロナ禍での対  
策や他の自治体での対応などを参  
考とした工夫を行っているのか伺  
う。

**答** 配布方法など、多方向から調  
査しながらできる限りお届けでき  
る環境整備を検討していきます。

### 財政状況について

**問** 地方債の起債額と返済計画に  
ついて伺う。

**答** 令和2年度末で地方債残高は  
231億3294万円です。毎年  
約20億円の返済を計画していま  
す。

**問** 委託料を減らす方策について  
伺う。

**答** 経常的に発生する委託料は、  
およそ14億円です。単年度に発生  
する委託料は年度により変化しま  
すが、2年度では13億円となり、  
合計で27億9195万円ほどにな  
ります。単年度に発生する委託料  
は年度により違い、単純に比較は  
できませんが、3年度では8億円  
ほどとなり、2年度より約4億円  
減額となりました。引き続き委託  
料の削減に努めていきます。

## 農業政策と教育施設の利活用について

蛭田 千香子

の活用を進めています。

現在、市独自の支援はありません。要望 農業経営の安定と担い手確保のために、農業機械や施設の整備に対する市独自の支援策を要望する。

## 教育施設の利活用について

問 旧磯原中学校、旧華川中学校の跡地利用について伺う。

教育部長 具体的な施設の利活用は、市内の市有財産利活用検討委員会での方向性が示されています。

旧磯原中は、市街地中心部に位置し交通の便もよいことから、現行の市道を歩道つきに改良するなど、市費を投入し利便性を向上させ、事業者が参入しやすい環境を整えた上で、開発計画を募ります。

子育て支援を考慮した住宅など、当市にとって最適な活用策を提示した事業者に公売する予定です。

また旧華川中は、用途として教育関連施設も視野に入れ、状況によっては建物つきで、民間利活用も検討に入れて公売する予定です。

両施設とも事業者の選定にあたっては、提案型プロポーザルを想定しています。審査会には議員と地域住民に加わっていただくよう考えています。

市長 北茨城市の将来のために、人が住んでくれることが一番大切なことだと理解しています。

(他に、新生児への支援について質問)

## GIGAスクールと学校給食について

今井路江

## GIGAスクールについて

問 タブレットPCのセキュリティについて伺う。

教育長 児童生徒が効果的かつ安全・安心にタブレットパソコンを利活用できるように、個人情報保護の観点からもセキュリティを重視しています。

令和3年9月、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童生徒は約1ヶ月、自宅学習になりました。その際、急遽、双方向型オンライン授業を実施しました。

学校再開後、それまで使用していたパスワードを変更しました。個人情報保護のために、家庭の協力を得て、新たなパスワードを作成してもらい、学校において再設定しました。

各学校では、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を育む情報モラル教育の充実に取り組んでいます。

また、パスワードは他者に知られない、教えないようにすることを児童生徒に指導するとともに、個人情報保護のため、パスワードの適切な管理に努めていきます。

## 問 チャット機能について伺う。

教育長 当市は、小中学校に整備したタブレットパソコンにおいても、チャット機能を利用することができます。複数の利用者がリアルタイムにメッセージを送信することができるチャット

機能は、便利な機能ではありますが、当市においては学習に利用する観点から、授業以外の使用は停止しています。

授業中のチャット機能は、教師が使用内容を把握することができるため、児童生徒が意見交換をしたり、意思表示をしたりする場面で使用しています。学習内容を学ぶ上で非常に有効な機能であるので、児童生徒が正しい使い方を身につけられるよう、今後も指導に努めていきます。

## 学校給食について

問 アレルギー対応食について伺う。

教育部長 アレルギー対応食(除去食)については、4年度から学校関係者などで組織する食物アレルギー対応のワーキングチームを立ち上げ、基本方針及びマニュアルの作成を進めます。

また同時に、学校や保護者より児童生徒の食物アレルギーに関する情報を集約し、医療関係者などの意見も取り入れながら、早急に実施する予定です。

## 問 旧給食センター跡地について伺う。

教育部長 本年度解体する予定で、市内組織の市有財産利活用検討委員会において方向性が示されており、磯原地区公園、テニスコート駐車場としての利活用を現在検討しています。

要望 小学生の給食費無償化の実現を要望する。

(他に、市内公民館の老朽化対策とエアコンの設置について質問)



## 太陽光発電の現状と廃校施設について

柴田 キクエ

### 太陽光発電の現状について

**問** 政府はCO2削減目標を20%上積みし、46%と非常に高く設定した。

**また**、太陽光パネルの世界生産量の約7割が中国製で、ウイグル自治区の製品だけで世界全体の45%を占める。中国共産党によるウイグル人のジェノサイドの懸念も強まる中、米国は強制労働が疑われる太陽光パネル関連の禁輸措置に踏みきった。

こうした情勢下で、むやみに太陽光発電を進めることは本市にも問題が生じうるので、現状を明らかにしたい。  
**当市の件数や発電量の状況と推移について伺う。**

**環境産業部長** 500Kw以上の大規模太陽光発電施設が23箇所、うち17箇所は、平成30年1月の「北茨城市太陽光発電施設の適正管理による地域環境の保全に関する条例」が施行される以前に設置されたものです。条例施行後に設置された施設は6箇所です。

### 廃棄対策について伺う。

**環境産業部長** 設置者などに太陽光発電施設設置等計画書を提出させ、詳細を把握します。稼働後は、運用や廃止後などの措置に関する協定を締結します。廃止後などの適正管理をより確実かつ迅速に実施させるよう、条例・規則で定めています。廃棄処理などに係る費用について計画的な積立てを求め、運用開始後1年ごとに積立額の報

告をするものとし、積立額の確認を行っています。

### 災害防止対策について伺う。

**環境産業部長** 条例などで、設置した費用の100分の5以上を、事業開始後10年間で積み立てることとしています。10億円で設置した場合、10年で5千万円の積立額となり、小規模災害などはその積立金で対応します。積立金以外にも財物保険の加入を求めています。災害やその他の事由により設置物などを撤去する際の費用を確保するためのもので、積立金と併せて二重の対策をしています。

**要望** 中国の人権弾圧については、自由、民主、基本的人権を貴ぶ先進国や多くの自治体が見解書を提出しているのにならい、地方から国に発信していただくことを要望する。

### 廃校施設について

#### 活用状況について伺う。

**教育部長** 30年4月に開設した旧関本第一小学校跡の「とれふる」と旧富士ヶ丘小学校跡の「期待場」の活用状況ですが、30年度の利用者数は1万7680人、令和元年度は1万9461人、2年度はコロナ禍により休館や人数制限を行ったため、7663人です。  
**要望** コロナ禍にあっても付加価値を生んで経済を回し、市民活動に貢献できる施設へと活用できるように要望する。

## 中郷町のまちづくりと地域コミュニティへの支援について

滝 文裕

### 2市連絡幹線道路などの整備を契機とした中郷町のまちづくりについて

#### 経過と今後の見通しについて伺う。

**市長公室長** 中郷町については、中郷工業団地などの造成や都市計画道路の整備を進め、良好な住宅環境の形成や商業施設の蓄積が促進され、生活に必要な機能の充実が図られました。これらの機能を生かすため、2市連絡幹線道路や新清掃センターの整備を進め、都市基盤の充実を図っています。

**日棚・栗野・小野矢指地区**については、2市連絡幹線道路の整備と併せ、南中郷駅との連絡道や駅西側における駅前広場の整備、駅の東西をつなぐ人道跨線橋の整備を進めることで、南中郷駅周辺を中心に、利便性の向上やにぎわいの創出を図ることを想定しています。

**問** 平成29年に南中郷駅西の整備計画を示してから4年が経過したが、この間、計画実現のためにどのように推進したのか、また地域住民の意見を聴くために、地域代表者などを含めた協議会などを設置する考えはあるか伺う。

**市長公室長** これらの整備に向けた検討を進めるにあたり、コロナ禍で自粛していた駅西地区の大口土地所有者との協議を再開する考えです。また協議会などの設置は、今後検討します。

**問** 新清掃センター東側の市所有地の開発計画について伺う。

**環境産業部長** 東側の敷地約17haは、循環型社会形成推進交付金を活用し、リサイクルなどによる循環型社会や適正に管理された森林による温暖化対策防止などを学ぶための屋外周遊型リサイクル展示施設を計画しています。現在、設計内容を協議中です。残り約10haについては、利用困難な地形があるため、地元住民と相談しながら活用方法を検討します。

**要望** 市所有地と南中郷駅周辺を一体的に整備する計画づくりを要望する。新清掃センターへの進入道路の高萩市の市道を、避難道路と地域振興のために、2市連絡幹線道路まで、さらに6号国道まで延伸されるよう要望する。

### 地域コミュニティへの支援について

**問** 地域コミュニティの組織や集会施設への支援について伺う。

**市長公室長** 地域活動の基礎組織として捉えており、市政運営に協力頂いています。未組織の地区もありますが、48組織を把握しています。現在、加入世帯の減少や高齢化による脱退などが目立ってきており、現状を把握し対応策を検討します。

なお、組織の運営への補助などは行っていません。また、管理する集会施設の建替えなどについては、適宜相談に応じています。

(他に、令和4年度予算編成方針について質問)

## 福島第一原発の汚染処理水、避難計画、 遺跡の揭示設置について

鈴木 康子

**問** 「大深度地中貯留」の方法だと海洋放出での風評被害も起こらない、国に改めて処分方法の検討を働きかけることについてはいかがか。  
市長 その方法については承知していません。

昨年9月に市長会・町村会を代表して大臣を訪問し、次のように陳情しています。処理水の処分方法は地元自治体、地域住民及び漁業関係者などの利害関係者に対する丁寧な説明と十分な意見聴取をふまえた上で方針を決定する。2番目が処理水の処分にあたっては、健康への懸念を払拭するよう努めるとともに、新たな風評被害を発生させない方法をとること、と述べています。このことが逆になれば賛成しませんよ、という意味です。処理方法は政府で考えることであって、北茨城市が物申すものではないと理解しています。しかし、地域住民、漁業関係者の意見をふまえながらやっていくことは申し上げています。当然ながら福島、茨城両県漁業協同組合連合会などが反対との表明は承知しています。

### 避難計画について

**問** コロナ禍での避難所新設、体調不良者用設備 福祉避難所について伺う。  
総務部長 市の地域防災計画での想定避難者数は約7千人です。指定避難所数は、複合防災センターの完成で42箇所です。その中で、コロナ禍の体調不良者の避難場所は、市民体育館の柔剣

道場のほかに、生涯学習センター「とれふる」と中郷多目的集会所です。通常の避難所では、発熱などの症状があれば、タープテントなどで他の避難者と接触を防ぐ取組みをします。  
福祉避難所は、第一福祉センター、老人福祉センター「ライト」に加え、8つの民間事業者と協定を締結しています。今後も需要の増加が想定されるので、民間施設の活用に努めます。

### 備蓄品について伺う。

**問** 備蓄品について伺う。  
総務部長 備蓄品は、各避難所に衛生用品セット、パーティションや換気用サーキュレーター、非接触型体温計、サーマルカメラなどを整備、生理用品は全体で約2千個を備蓄しています。

**問** 体温計を公民館などで日常的に利用できるようにならないか伺う。  
総務部長 非接触型体温計の利用については、施設側とよく話をし、使用の手続きをしていきます。

### 遺跡などの揭示設置について

**問** 戦争にまつわる遺跡ならびに埋蔵文化財の揭示について伺う。  
教育部長 戦争遺跡は、歴史的事実として貴重な資産と考え、歴史民俗資料館に風船爆弾や「震洋」の模型や写真を展示しています。埋蔵文化財は、個人所有の土地が多いなど揭示するには課題がありますが、それぞれ今後検討していきます。

(他に、旧磯中・華中の跡地利用、学校でのタブレット活用について質問)

## 新型コロナウイルスワクチン接種について

豊田 弘俊

**問** ワクチン接種率について伺う。  
市民福祉部長 11月末現在、12歳以上の対象者3万9285人で、1回目を接種した方は3万5323人、接種率89・9%です。2回目を接種した方は3万5035人、接種率89・1%です。

**問** ワクチン未接種の方への対応について伺う。  
市民福祉部長 市の広報で、接種を希望する方はコールセンターで予約を取るように周知しています。個別の接種勧奨については行っていません。また、体調不良などにより予約をキャンセルした方には予約を取り直すように案内しています。

**問** 3回目接種の具体的な時期について伺う。  
市民福祉部長 実施時期については、2回目接種後、8ヶ月を経過してから接種となります。ワクチンの供給状況、地域の感染状況によって変更はありますが、現在の予定は、まず医療従事者の方が令和4年1月、次に高齢者の方が2月になります。1回目、2回目接種同様、施設に入所している方及び施設従事者から始めます。国の方針により、接種時期などの変更があった場合には対応していきます。

**問** 3回目接種の日時指定について伺う。  
市民福祉部長 3回目接種時に日時を指定してほしいという要望があることは理解しています。検討した結果、接

種の案内を郵送した後、通知を開封しなかったり、キャンセルの連絡がなかったりした場合、準備したワクチンを廃棄することになります。貴重なワクチンの廃棄を避けるために、接種は予約制にします。

### 3歳児健診の視力検査について

**問** 視力アンケートの内容を伺う。  
市民福祉部長 視力検査については、健診日時の案内の際、検査の方法やお子さんの目に関するアンケートを送付し、家庭で検査を行い、健診日にアンケートを提出していただいています。アンケート内容は、視力検査の結果やお子さんの目の状態、ふだんの様子を伺う内容となっています。

**問** 医師が視力検査を行うのか否かについて伺う。  
市民福祉部長 現在、眼科医による視力検査は実施していません。

**問** 視力検査の時に重要な役割をはたす屈折検査機の導入について伺う。  
市民福祉部長 視力検査機については、3歳児健診における視力の発達の遅れ、弱視や目の病気を早期に発見し治療につなげるため、とても大切なものだと考えています。そのため、導入を検討しています。

米価下落の対策とこれからの農業について

上神谷 英典

**米価下落対策について**  
**問** 施策の中で農家を支える政策があれば見解を伺う。

環境産業部長 飼料用米などへの転換推奨の周知、さらに営農計画書の修正期限の延長などを行ってきました。その結果、飼料用米などへの転換は市独自の支援も行っていることから、令和3年度、作付面積で前年比約37ha増の約315haとなり稲の作付面積約824haのうち、約38%を占める割合となりました。

飼料用米への転換が大きく進んだことは、一般米の価格下落に対応する政策効果と考えます。

今後とも国や県など関係機関と連携しながら米価下落に伴う情勢の把握に努め、飼料用米などへの助成を継続し、需要に応じた米生産の取組みを推進していきたいと考えています。

**人・農地プランの実質化について**

**問** 北茨城市における農地利用の未来図とも言えるが、進捗状況を伺う。

環境産業部長 国からは2年度中にプランの実質化が求められていますが、新型コロナウイルスの感染拡大で実質化の期限が今年度末まで延長されました。感染症対策により地域の話し合いが実施できない場合の対応策である「アンケート」による意見の集約及びプランの反映」にならない、各地区の中心経営体に対しアンケートを実施してい

るところです。今後、回答結果を反映したプランを作成して、今年度末までにプランの実質化に向けて取り組んでいきます。

**みどりの食料システム戦略について**

**問** 持続可能な食料システムの構築に向けたこの政策は多岐にわたる。カーボンニュートラルなどの環境負荷軽減のイノベーションを推進方策として示している。県では、米においては特別栽培米という減農薬、減化学肥料を要件に米の認定制度がある。市内における取組み状況はいかがか。

環境産業部長 特別栽培米の面積は、およそ30haです。また、耕畜連携に取り組み、堆肥の利用や化学肥料を使用しない循環型の有機農業の推進を図っています。

今後、県や国など関係機関とさらに連携を深め、この政策の実現に向けて取組みを進めていきます。

**問** スマート農業への取組みについて伺う。

環境産業部長 高齢化や労働力不足といった生産現場の課題を最先端技術で解決していく取組みは、これからの農業に有効な手段であると捉えています。これまでの事例を参考に進めていきます。

(他に、磯原中学校の通学路について、旧華川中学校の敷地管理について質問)

一般会計 12 月補正予算の主な内容

事業者支援一時金

3204万7千円

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、茨城県からの飲食店などの時短営業要請や不用不急の外出・移動の自粛要請の影響を受け、売上げが急減した中小企業・個人事業主に対し、事業の継続を支援するため1事業者あたり20万円を支給する。

新型コロナウイルス感染症  
 予防接種事業

1437万円

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の実施に伴い、集団接種に係る事業費の増額を行う。

障害者自立支援給付費等

9113万7千円

障害者自立支援給付費、日中一時支援費、障害児給付費等の増額を行う。

生活保護費

4657万9千円

生活保護費の増額を行う。

道路等補修事業

800万円

排水整備工事費及び、交通安全施設整備工事費などの増額を行う。

## 第4回定例会提出議案の審議結果

令和3年第4回定例会は、11月30日から12月14日までの15日間の会期で開催されました。提出された議案は、令和3年度北茨城市一般会計補正予算など18件で、結果は次のとおりです。

議案番号	件名	議決の結果
議会報告第3号	陳情の報告について	採 択
	陳情2 件名は次頁	
議会報告第4号	陳情の報告について	採 択
	陳情3 件名は次頁	
議案第59号	専決処分の承認を求めることについて	承 認
	専決第3号 令和3年度北茨城市一般会計補正予算（第5号）	
議案第60号	公平委員会の委員の選任について	同 意
議案第61号	茨城北農業共済事務組合の解散について	可 決
議案第62号	茨城北農業共済事務組合の解散に伴う財産処分について	可 決
議案第63号	北茨城市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可 決
議案第64号	北茨城市農業共済事業の実施に関する条例を廃止する条例	可 決
議案第65号	北茨城市と茨城県信用保証協会との損失補償契約に基づく回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第66号	令和3年度北茨城市一般会計補正予算（第6号）	可 決
議案第67号	令和3年度北茨城市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第68号	令和3年度北茨城市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第69号	令和3年度北茨城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第70号	令和3年度北茨城市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
議案第71号	令和3年度北茨城市民病院事業会計補正予算（第2号）	可 決
議会議案第4号	議員の派遣について	可 決
議会議案第5号	コロナ禍による米価下落の対策を求める意見書の提出について	可 決
議会議案第6号	中華人民共和国政府に対して、自由や民主主義といった普遍的価値が保障されるよう働きかけることを求める意見書の提出について	可 決
議会議案第7号	出産育児一時金の増額を求める意見書の提出について	継続審査
議会議案第8号	北茨城市議会議員政治倫理条例改正を目的とする特別委員会の設置について	可 決

## 第4回定例会 賛否のわかれた議案などの採決結果について

賛否のわかれた議案などの採決結果について、各議員の賛否の状況を掲載します。

議員名(議席順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	審議結果		
議案などの番号	沓澤和彦	滝文裕	鈴木卓實	和田喜武	柴田キクエ	熊田栄	上神谷英典	松本正春	今井路江	滝広嗣	豊田弘俊	蛭田千香子	鈴木啓一	鈴木和栄	鈴木康子	前田利勝(議長)	豊田海洋	鈴木信男	大平博之			
陳情2	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	採択	
陳情3	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決	
議案第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決	
議案第64号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決	
議会議案第5号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議会議案第6号	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	●	●	可決

○賛成 ●反対 ※議長は可否同数の場合を除き、採決に加わりません。

## 請願・陳情の審査結果

### 採択となったもの

**陳情2** 中華人民共和国政府に対して、自由や民主主義といった普遍的価値が保障されるよう働きかけることを求める意見書を提出する陳情

古河市東山田 2944-395

幸福実現党茨城県本部 代表 大貫 秀子

**陳情3** 新型コロナウイルス感染拡大にともなう需要減少で過大な在庫が発生し、農業の現場では政府の打ち出した36万トンの上乗せ「減反」をほぼ達成したにもかかわらず、今年産米の市場価格は暴落し、担い手生産者をはじめ農家の大幅な減収をもたらすなかで、この26年間で米の消費量が4分の3に減少したとされるもとでも、国内消費に必要な外国産米は毎年77万トンも輸入されつづけて見直されておらず、他方、全国各地で取り組まれている食糧支援には、多数の人が訪れ、米の配布などが歓迎されている実態があり、政府が特別に買い入れた米を政府の責任で困窮する国民に提供するといった施策など、コロナ禍という、かつて経験したこと

のない危機的事態のなかで、農業者の経営と地域経済を守るために従来の枠組みにとらわれない対策を求める陳情

茨城県北茨城市磯原町木皿 1399

農民運動茨城県連合会 県北農民センター 代表者 堀江 鶴治

## 継続審査となったもの

請願3 令和3年2月25日公布された「北茨城市議会議員政治倫理条例」(以後「新条例」とする)の第3条1項1号に抵触する、代表が元市職員のKさん・理事に大平議員やT元市議他2名・監査に蛭田議員とS前市議が令和2年度(令和4年度整備分)特別養護老人ホーム整備運営事業者への補助金を受けようとした行為は、設置場所の登記簿を見れば見る程、市民としては大きな疑義を感じ、関係者の良識ある対応を求め、第4条1項に抵触する鈴木啓一前議長が市民に対し行った調査請求書の却下や、豊田弘俊前副議長や蛭田前議運副委員長が市民を脅す等、調査対象8人の議員の理不尽な言動に対する公平・公正な対応を求め、第4条2項に抵触する広報誌「北茨城市議会だより」No.97・99・100号の虚偽記載や市民の名誉を傷つける記事に対し、謝罪と訂正を求める請願

北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外9名

請願5 鈴木啓一前議長他の署名簿に対する理不尽な越権行為他・豊田弘俊前副議長が講師と称する「消えゆく自治体」の著者はおらず疑惑を指摘するも、その疑義には答えず、警察へ電話を掛けて市民を脅した行為他・蛭田千香子前議運副委員長は市民の指摘に自己保身を図り、回答書を使い嘘の指摘で、市民に対し名誉毀損と圧力を加えた行為他・大平博之議員はM氏を使い、市会議員数人に対し、住民監査請求を行った行為他、問題のハラスメントや人道・倫理に背いた行為について、特別委員会を設け、真相を解明し責任の所在を明らかにする対応や市民の権利回復を求める請願

北茨城市磯原町木皿 991 代表 柴田 克彦 外9名

### 表紙の解説

1月9日、冬晴れの中、新成人312名(409名中)参加による令和4年成人式祝典が、磯原地区公園内の筑波銀行「あゆみ」ドームで開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催が危ぶまれましたが、座席の間隔を広くとるなどの感染予防につとめ、笑顔で式典を終了することができました。

## 全員協議会 11月30日、12月14日開催

11月30日は、事務局から「コロナ禍による米価下落の対策を求める陳情」、執行部からは「ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた主要な事業等について」の報告の他、議案について説明がありました。

12月14日は、事務局から「北茨城市議会議員政治倫理条例改正を目的とする特別委員会の設置について」など追加議案の説明、執行部からは「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策について」や「北茨城市ふるさと応援大使の設置及び委嘱について」などの報告がありました。

## 討論

12月14日、柴田キクエ議員が陳情3について反対討論、陳情2について賛成討論をしました。また、鈴木康子議員は、陳情2、議案第61・62・64号について反対討論、陳情3について賛成討論をしました。

## 特別委員会（政治倫理特別委員会、北茨城市議会議員政治倫理条例改正特別委員会）

12月14日に、請願3、請願5を審査するため、全議員19名を委員とする政治倫理特別委員会が開催されました。今委員会では協議の末、両請願ともに継続審査とすることが決定しました。

12月14日に、同日、議会議案第8号「北茨城市議会議員政治倫理条例改正を目的とする特別委員会の設置について」が可決されたことを受け、議員9名を委員とする特別委員会が設置、開催されました。委員会では、委員長に滝広嗣副議長、副委員長に鈴木和栄議員が選出され、議員の品位を保持し公正公平な条例とするために政治倫理審査会を設置することを柱に、同条例の改正を進めていくことになりました。

## 意見書の提出

産業建設委員会から次の意見書が提出され、本会議で可決されました。なお、意見書は関係機関に送付されました。

「コロナ禍による米価下落の対策を求める意見書」

総務委員会から次の意見書が提出され、本会議で可決されました。なお、意見書は関係機関に送付されました。

「中華人民共和国政府に対して、自由や民主主義といった普遍的価値が保障されるよう働きかけることを求める意見書」



企画展

「おいでよ！花鳥画の世界」から

小林巢居人《春雪》 令和4年 2/11(金)～4/17(日)

休館：月曜日【3月21日(月・祝)は開館、22日(火)は休館】

今回で紹介する作品は、茨城県稲敷郡長戸村(現在の龍ヶ崎市)出身で日本画家の小林巢居人《春雪》です。20歳の頃に画家を志した巢居人は、小川芋銭の紹介で平福百穂に師事し、水田や川、湖などの風景や、そこに生息する生きものや植物をテーマにした作品を数多く描きました。この作品は巢居人の最晩年、80歳の時のもので、描かれているシメという鳥は春になると飛び立つ渡り鳥です。空から湿った牡丹雪が舞い降りる中、芽吹き始めたふきのとうが春の到来を告げるかたわらで、3羽のシメが「春が来たよ」とおしゃべりをしているかのようです。シメの愛くるしい表情や淡い黄色で表現された水玉模様のような雪、水色やピンクといった背景からは優しく温かな雰囲気がいっぱい溢れ、巢居人の生きものたちへのまなざしが垣間見える作品です。



小林 巢居人《春雪》昭和52(1977)年  
茨城県近代美術館蔵

企画展「おいでよ！花鳥画の世界」では、茨城県近代美術館が所蔵する作品を中心に、「なんかかわいい」をキャッチフレーズに花鳥画の優品を展示いたします。私にとって《春雪》は「かわいい」がたくさん詰まった作品です。見方や感じ方は人それぞれ違います。みなさんも、ぜひ「かわいい」「すてき」「なんかいい」と直感で思える作品を探してみてください。

(主任学芸主事 木内 智美)

令和4年第1回定例会日程(予定)

令和4年第1回定例会は、3月1日から3月16日までの16日間の予定です。

- 3月1日(火) 本会議 (議案説明など)
- 3月7日(月) 本会議 (一般質問)
- 3月8日(火) 本会議 (一般質問)
- 3月9日(水) 産業建設委員会 (議案審査)
- 3月10日(木) 文教厚生委員会 (議案審査)
- 3月14日(月) 総務委員会 (議案審査)
- 3月16日(水) 本会議 (採決など)

●議会だより編集委員会委員●

委員長	滝 広	副委員長	上神谷 英典
編集長	和 田 喜武	副編集長	鈴木 康子
委員	鈴木 卓文	委員	滝 文裕
委員	滝 文裕	委員	滝 文裕
委員	滝 文裕	委員	滝 文裕

編集後記



コロナの第6波の感染が広がっています。弱毒化の傾向があるといえ、日々の暮らしの不安はつきません。待たれていました3回目のワクチン接種が、当市でも1月から始まりました。前回接種の7～8ヶ月後を目安に、1・2回目を実施した順番で、後期高齢者から順次接種券が送られます。また茨城県は、不安のある方にPCR検査の無料検査を始めました。期間の制限や現場の薬局のご苦労

など、体制はまだまだ不十分だと感じていますので、拡充を求めていきたいと思えます。さて、議会だよりの紙面については大きな変更をしています。構成の順番やフォントの大きさ、レイアウトなど諸々変えています。読みやすさやわかりやすさはいかがでしょうか。みなさんの考えをお聞かせいただけましたら幸いです。議会活動全般についても、ご意見、ご感想をどうぞお寄せください。

(鈴木康子 記)